

2022年9月1日
国立大学法人名古屋工業大学
イオンタウン株式会社

名古屋工業大学×イオンタウン 『地域コミュニティの価値創造』に関する共同研究について ～イオンタウン初！鶴舞地区における、まちづくりの研究と社会実験～

国立大学法人名古屋工業大学（所在地：愛知県名古屋市、学長：木下隆利、以下：名古屋工業大学）と、イオンタウン株式会社（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長：加藤久誠、以下：当社）は、当社が運営する愛知県名古屋市のショッピングセンター「イオンタウン千種（以下：当SC）」において、「まちづくりにおける地域コミュニティの価値創造」について共同研究を行うことで合意しました。

本共同研究は、当SCが位置する鶴舞地区を対象として、SCや施設内だけでなく、周辺施設や商店街、町内会と連携しながら、国土交通省が推進する「まちなかウォークアブル推進プログラム」の研究や、社会実験の企画立案・効果検証を行い、参加型の将来ビジョンの策定を行うものです。

研究を進めるなかで、周辺拠点の潤滑油となるまちづくり組織を発足し、まちづくりに関する情報共有や勉強会、共同イベントなど公共空間（道路や公園）を活用した社会実験をおこなうことにより、地域の皆さまと協力関係を育みながら、地域コミュニティの拠点となり、まちづくりのビジョン実現に寄与していきます。

今後も名古屋工業大学と当社は、相互が有する資源を有効活用し、地域の活性化・人材育成等において連携・協力し、地域社会の発展に貢献してまいります。



イオンタウン千種 外観写真



自動運転実証実験（2021年実施）

共同研究の概要

1. 研究 題 目 : まちづくりにおける地域コミュニティの価値創造
2. 期 間 : 2022年9月1日~2025年8月31日
3. 研究 主 体 : 名古屋工業大学 伊藤孝紀研究室、イオンタウン千種
4. 研究 代 表 者 : 名古屋工業大学大学院工学研究科 建築・デザイン分野 准教授 伊藤孝紀
5. 研究 内 容 : 鶴舞地区を対象にまちづくり組織の発足や社会実験の企画立案から効果検証、参加型の将来ビジョンの作成を行う

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当社では、2030年までに取り組むべき地球規模の17の目標“SDGs”に向けて、全社を挙げて取り組んでいます。今回の取り組みが該当する開発目標は、右図の通りです。

